

## 4. 「X線分析の進歩」投稿の手引き

本誌投稿の論文執筆にあたっては、報文としての体裁にとらわれず新しい知見や価値あるデータを報告することを最優先することを目的とし、形式上の制限は特に設けません。次の点を配慮のうえ、御投稿願います。本誌は、①投稿原稿の形式上の自由度が大きく、②図の英文を必須としない（英文の方が好ましい）、③投稿カード不要、④ e-mail 投稿を受け付ける、⑤投稿料制で自分の論文をホームページに掲載可能、などの特徴があります。

「X線分析の進歩」誌 46 集（2015 年 3 月発行）から冊子体に全頁の PDF ファイルを収録した CD-ROM が付録としてつき、自分の論文 PDF を、自分のホームページなどにセルフ・アーカイピングすれば、誰でもグーグル・スカラー（Google Scholar）などで検索し論文内容を無料で読むことができますようになります（オープン・アクセス）。

オープン・アクセスとはインターネット上で論文などを無料でダウンロードできることを指します。せっかく雑誌に発表した論文なので、一部の限られた人にしか読めない有料制にすることなく、誰でも読むことができるようにすることが目的です。

セルフ・アーカイピングとは、科学論文などのデジタル版を自分でオンライン上で公開することです。

今回の投稿の手引き改訂（2014 年 12 月）は、カラー図面による投稿が最近では日常化してきたことによって、従来の別刷り 50 部強制買取制の価格が高額になるとともに、紙別刷り自体の不要論も多くなってきたことがその背景にあります。

1. 本誌の掲載論文は投稿論文の査読（1 名）を経て、当編集委員会が決定します。原稿をお送りいただくと、編集委員会より受理通知をお送りします。編集委員会は、字句その他の加除修正を行い、

あるいは、著者にこれを要求することがあります。著者校正は 1 回行います。著者には校正刷りだけをお送りしますので、原稿の完全な控えを手元に保存してください。校正刷りはお手元へ到着後至急校正し、出版社へ返送してください。出版は毎年 3 月下旬の予定です。

2. 本誌に掲載する論文の種類は、X 線分析に関連する報文、原著論文、ノート、技術報告、総説、解説、講座、技術資料、国際会議報告などからなります。これらは、他出版物に掲載されていないものに限定します。これらの報文などは、X 線分析の基礎あるいは応用に関し価値ある事実あるいは結論を含むもの、X 線分析技術の成果に関する報告で X 線分析上有用なものとします。分類は著者からの申し出を尊重して掲載します。他出版物に掲載されたものについても、編集委員会として出版を認める場合があります（翻訳等）。論文は和文の論文の投稿を推奨しますが、英語論文も受け付けます。
3. 題名、全著者名（フルネーム）、全著者の所属機関名及びその住所は和文と英文とを併せて投稿論文の最初のページに記入してください。「投稿カード」は不要です。原稿は A4 用紙を用い、行数、1 行の字数など常識的な範囲で執筆してください。投稿原稿はカメラレディーのフォーマットにはせず、図の挿入位置の指定や余計なフォーマットは不要です。
4. 投稿は、「X線分析の進歩」へ投稿する旨（たとえば、「論文（著者、題目）を X 線分析の進歩誌に原著論文として投稿します」というような一文）を e-mail 本文に記述し、編集委員会あて投稿してください。連絡責任著者の連絡先 Tel, Fax, e-mail を原稿の初めに記入してください。
5. 投稿論文は、Windows 対応（Word 等）のデータで e-mail に Word などを直接添付ファイルとして

投稿してください。大きなサイズのファイルは編集委員会であらかじめご相談ください。

6. キーワードは、論文内容を適確な形で表現したもので、1論文5個程度とし、英文キーワードと和文キーワードをアブストラクトの次に記入してください。巻末の索引として利用します。
7. アブストラクトは和文と英文を原稿に含めてください。なお、和文アブストラクトは標準的には原稿用紙1枚(400字)以内、英文アブストラクトは300語程度ですが、必ずしもこの制限を守る必要はありません。アブストラクトは別ファイルとせず、原稿と同じファイルに含めてください。英文アブストラクトは和文アブストラクトの直訳である必要はなく、和文より簡潔な記述でもかまいません。
8. 図、表及び写真は的確なものを選び、説明は英文で記述してください。ただし論文全体を通して和文のみのキャプションでも投稿可能です。図、表はWord, Excel, PowerPoint, PDFファイルも受け付けます(できるだけPDFファイルもつけてください)。また、文字についてはプロポーショナルタイプのフォントは使用しないでください。紙原稿の場合には図の大きさはA4に収まる大きさとし、そのまま写真印刷できるようにお願いします。なお、完全図面を準備できない場合は、出版社にてトレース(有料)することも可能です。写真はキャビネ版またはJPEGなどのデジタルファイルとし、鮮明なものをお願いします。カラー図面・カラー写真は白黒印刷でも意味が分かるように、また色が消えないように(青色や黄色の線は白黒印刷で消滅する場合があります)作成してください。
9. 引用文献の形式は、日本分析化学会「分析化学」誌に準じますが、統一がとれていれば、他の形式(たとえばSpectrochimica Acta誌など)でもかまいません。
10. 別刷り50部購入制を廃止します。投稿者は投稿料として表1の投稿料+税を出版社にお支払いいただきます。全論文をPDFで収録したCD-ROM付録の付いた「X線分析の進歩」誌を1部差し上げ

げます。このPDFからご自分の論文に限り切り抜いて、自分のホームページに掲載可能です(セルフアーカイビングの承認)(掲載ホームページのどこかに[http://www.agne.co.jp/books/xray\\_index.htm](http://www.agne.co.jp/books/xray_index.htm)へのリンクを明示してください)。紙別刷は通常は作成しませんので、別途購入希望の方は、校正刷り返送の際に出版社へ注文してください。別途紙別刷希望の場合、表1の投稿料に加えて、 $3000 + p \times n \times 5$  (税別) 円をお支払いください(p:ページ数, n:別刷部数)。紙別刷は4月に納品します。

表1 投稿料

| 出来上がり頁数 | 投稿料    |
|---------|--------|
| 1 - 6   | 15,000 |
| 7 - 12  | 25,000 |
| 13 - 18 | 35,000 |
| 19 - 24 | 45,000 |
| 25 - 30 | 55,000 |
| 31 - 36 | 65,000 |

11. 専門用語は、なるべく分析化学用語辞典(日本分析化学会編)、またはJIS用語を用いることが望ましいですが、必ずしもこの限りではありません。必要があればSI単位以外の単位を用いても結構です(Torr, インチなど)。
12. 本誌の投稿論文は、他の出版物への投稿を御遠慮ください。
13. 本誌に掲載された論文、記事についての著作権は、公益社団法人日本分析化学会X線分析研究懇談会に属します。本誌は毎年の出版は白黒紙媒体とカラー画像を含むCD-ROMの出版としますが、将来、インターネットなどでの公開可能性もあります。
14. 執筆にあたり、他者の論文、成書などから図、表等を転載もしくは引用する場合は、必ず著者自身の責任において原著者並びに出版社の許諾を得て、出典を明示してください。
15. 図、表及び写真の番号は、英文でそれぞれFig.1, Table.1, Photo.1とし、原図、写真には対応する番号を邪魔にならない位置に書くかファイル名で

わかるようにしてください。図、表及び写真などはA4として、原稿の最後につけてください。図、写真の表題及びその説明文は、原図に記入せず、引用文献の次のページにまとめて記載してください。ただし、表については直接原稿本文中に挿入しても結構です。PDFは「高品質印刷」などの設定でお作り下さい。

#### 原稿の送付先及び連絡先

共同編集委員長

河合 潤 kawai.jun.3x@kyoto-u.ac.jp

TEL 075-753-5442

または、

林 久史 hayashih@fc.jwu.ac.jp

宛て（投稿論文は、どちらか片方にのみ送信してください）

#### 【お知らせ】

- \* X線分析研究懇談会の活動内容、「X線分析の進歩」投稿の手引き、討論会・研究会日程などを  
<http://www.nims.go.jp/xray/xbun/>  
にてお知らせしています。
- \* 「X線分析の進歩」バックナンバー PDF 化 CD-ROM の頒布を行っています。詳しくは

[http://www.nims.go.jp/xray/xbun/shinpo\\_cdrom.htm](http://www.nims.go.jp/xray/xbun/shinpo_cdrom.htm)  
をご覧ください。



#### CD-ROM 一枚の収録内容

「X線工業分析」第1集(1964)～第4集(1968)  
「X線分析の進歩」第1集(1970)～第32集(2001)  
第26s集(1995, 全反射X線分析国際会議特別号)  
総目次: 「X線工業分析」第1集～「X線分析の進歩」第32集(26s含む)

#### 定価（税・送料含む）

X線分析研究懇談会会員 : 15,000 円＋税

X線分析研究懇談会非会員 : 20,000 円＋税

購入申込先: 日本分析化学会 X線分析研究懇談会

#### 最新情報はホームページで！

X線分析研究懇談会のホームページ (<http://www.nims.go.jp/xray/xbun/>) には、X線分析に関するホットな情報が満載されています。

○毎年1回開催されるX線分析討論会の案内

○定例研究会（年5回程度）や講習会（年1～2回程度）の日時や会場、プログラムの案内

○関係する国際会議のスケジュール

このほか、X線分析情報メーリングリストに登録すると、電子メールでの情報交換に参加することができます。各種会合の案内や人材募集、いろいろなニュースが飛び交っています。もちろん、参加は無料。上記ホームページにも案内が出ていますので、ぜひお問い合わせください。